

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年06月28日

計画の名称	伊丹市狭あい道路情報整備計画													
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度 (2年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	伊丹市													
計画の目標	狭あい道路情報整備の促進により、老朽ストックの建替え等の円滑化を図り、安全な住宅市街地の形成を実現する。													
全体事業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)		15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

[illegible]

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	伊丹市	直接	伊丹市	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路情報整備（市内全域）	伊丹市	■	■				15		－
											小計						15		
											合計						15		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊丹市において、目標の達成状況やその要因を確認し事後評価を実施。	令和元年6月
	公表の方法
	伊丹市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽ストックの建替え等の円滑化を図るための狭あい道路情報の整備を行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	指定道路情報の電子化の整備を行い、インターネット公開することで、指定道路情報を把握するという利便性の向上を図ることができた。
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	指定道路情報（指定道路図）の電子化の整備割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	伊丹市狭あい道路情報整備計画		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度 (2年間)	交付対象	伊丹市

